

報道関係者各位

管理職は「罰ゲーム」ではない。
500社超を変えた上司力提唱者・前川孝雄 40冊目の集大成
 リーダーの“働く喜び”を呼び覚ます
『心が動くマネジメント物語』発売

企業・団体の人材育成に向けた「上司力」向上を支援する株式会社FeelWorks(本社:東京都中央区、代表取締役:前川孝雄)は、2026年5月18日(月)より、最新刊『心が動くマネジメント物語～誰も教えてくれなかった管理職の喜び18話』の発売を開始いたしました。本作は、500社超で人が育つ現場づくりに携わってきた前川が、管理職という役割を「罰ゲーム」から「人を育てる”最幸”の喜び」へと再定義するために執筆した渾身の著作です。



■ 書籍概要

- 書名:『心が動くマネジメント物語－誰も教えてくれなかった管理職の喜び18話』
- 著者: 前川 孝雄
- 体裁: A5判、208ページ
- 定価: 1,694円(本体1,540円+税10%)
- 発売日: 2026年5月18日(月)
- 出版社: 株式会社FeelWorks
 - ◆ Amazon >>購入はコチラから
 - ◆ 三省堂書店 >>購入はコチラから
 - ◆ 楽天ブックス >>購入はコチラから

■ 本書籍をご紹介いただきたい「3つの背景」

1.【社会課題】深刻な管理職離れ

現在、若手の8割が管理職を敬遠するなど「罰ゲーム化」するマネジメントが社会問題となっています。本書は、マネジメントの本質を「人を育て活かす喜びを得られる仕事」として、実際にあった上司と部下の“心が動いた”物語を通じて再提示。今の日本に最も必要な「リーダーシップへの希望」を届けます。

2.【正論の限界】タイプ・効率化のその先

人的資本経営やリスクリングなど、論理優先の施策で現場は疲弊しています。「正論では人は動かない」という本音に向き合い、物語という手法で感情に直接訴えかけるアプローチは、合理性に偏重しがちなビジネス界に「人間性」を取り戻すための新しい試みです。さらに、掲載と同様の物語が、読者自身の自己研さんによって再現可能になるように、FeelWorksが「上司力®研修」で提唱する「一人ひとりを活かす上司力」の構造にあてはめて紹介、併せて、モチベーションやコミュニケーションに関する心理学でも解説しています。

3.【専門家の結論】40冊の著書を経て行き着いた”物語”

著者デビュー20周年40冊目という節目で行き着いたのは、理論やスキルを補強する「体験や想いを分かち合うストーリー」の価値でした。20年来1000回以上続けている講演会でも絶大な共感を得ている実話ドラマをベースにした本作は、人材育成・キャリア支援の専門家自身の集大成としてのニュース性を持っています。

■ 著者：前川 孝雄(まえかわ たかお)

人材育成の専門家集団(株)FeelWorksグループ創業者であり、部下を育て組織を活かす「上司力®」提唱者。兵庫県明石市生まれ。大阪公立大学、早稲田大学ビジネススクール卒業。リクルートで「ケイコとマナブ」「就職ジャーナル」「リクナビ」などの編集長を経て、2008年に「人を大切に育て活かす社会づくりへの貢献」を志し起業し研修事業・出版事業を営む。独自開発した研修「上司力®研修」「上司力®鍛錬ゼミ」「50代からの働き方研修」「ドラマで学ぶ「社会人のビジネスマインド」「新入社員研修」「プロフェッショナルマインド研修」、などで500社以上を支援。2011年から青山学院大学兼任講師。2017年に(株)働きがい創造研究所設立。一般社団法人企業研究会サポーター、特別民間法人中央労働災害防止協会委員なども兼職。親しみやすい人柄にファンも多く、ダイバーシティマネジメント推進、リーダーシップ開発、キャリア支援に詳しい。著書は『人を活かす経営の新常識』(FeelWorks)、『部下を活かすマネジメント“新作法”』(労務行政)、『「働きがいあふれる」チームのつくり方』(ベストセラーズ)、『本物の「上司力」』(大和出版)、『50歳からの逆転キャリア戦略』(PHP研究所)、など約40冊。産業能率大学などでリーダーシップ、キャリア、ダイバーシティマネジメントについての教科書も執筆。



※「上司力」は株式会社FeelWorksの登録商標です

<本件に関するお問い合わせ・献本・取材依頼先>

セブンツリーズ合同会社 東條(広報代行)

tojomarico@gmail.com

090-3900-7681